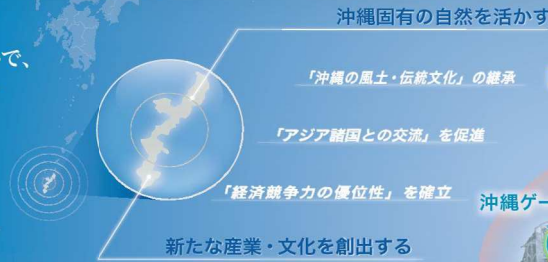


万国津梁の島 — 新しい沖縄の実現

アジア諸国の重心に位置する沖縄は、かつてより、これら周辺諸国との交易のなかで、世界を相手に自立する精神—万国津梁—をつちかってきました。

21世紀に花開いた「アジアの時代」。沖縄の「固有の文化」、「豊かな自然」、「多彩な人材」を礎に—自立する交流展開の島—として生まれ変わります。



新しい沖縄の実現にむけた「3つのネットワーク」の構築

1 都市ネットワーク

4つの新都市拠点を創る

6つの基地を4つの都市エリアに再編。新しく生まれる都市と既成市街地が連携した、個性あふれる都市ネットワークを実現します。



沖縄ゲートシティ—那覇港湾 緑豊かなウォーターフロントを開く

貴重な都心部の水辺空間を活用した沖縄の玄関口“観光交流拠点”と、奥武山公園とが連携した“アジアのスポーツ交流拠点”



沖縄エンターテインメントリゾート—牧港 アジアを感動と交易で結ぶ

既設文化施設と連携した“統合型エンターテインメントリゾート”と、“MICE・国際物流拠点”



※MICE: Meeting, Incentive, Convention, Exhibitionの4つのビジネスセグメントの頭文字をとった造語。

沖縄リージョナルコア—普天間 新たな沖縄の中心をつくる

広域行政中枢機能や琉球ナショナルパーク、最先端の研究開発拠点の整備による自立する“沖縄の先導拠点”



沖縄コミュニティビレッジ—桑江南・瑞慶覧・第一桑江 健“幸”ライフを生み出す

高台立地と気候風土を活かし、国際色豊かで教育・医療の充実した“暮らし創造拠点”

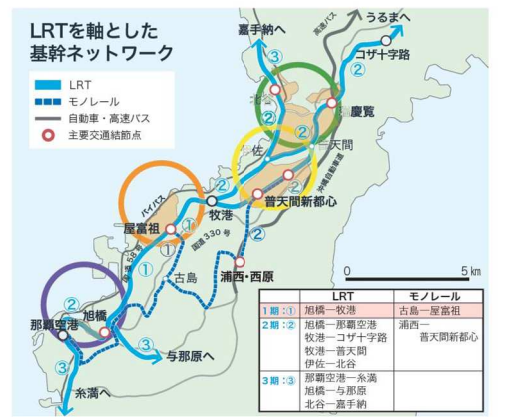


2 交通ネットワーク

LRTを軸に都市拠点を結ぶ

LRTを軸に交通ネットワークを再構築し、活発な都市間交流実現。沖縄の風景を感じる親しみやすい交通システムを、基地返還に関わらず早期実現します。(第1期)

バイパス開通で交通量の分散が見込まれる国道58号を軸に、公共交通体系を整備。国際観光都市としての景観と街のにぎわいを創出。



3 環境ネットワーク

豊かな亜熱帯庭園都市を育む

自然の生命力や循環のしくみを積極的に取り入れ、亜熱帯の自然と人々の生活を融合。庭園のような景観をもつ低炭素都市を創出します。

地域特性を生かした緑の再生。基地跡地に大きな緑地を創出。都市間を結ぶスマートインフラを整備し、エネルギーを融通する自立的システムを構築。

